

振り返って

那珂支部 那珂県土整備事務所 田代純太郎

私が県職員になって数か月しかたっていませんが、この作文は新採の登竜門ということで自分の身の回りのことや感じたこと、実体験を率直に書かせていただこうと思います。

人生なにがあるかわかりません。私がこの職に就いたのは成り行きでした。何となくふらふらしていた高校時代から何となく受けて合格した大学に進学し、そこでたまたま学んだ土木。大学卒業後も進路が決まらず悩んでいましたが、九州北部豪雨の災害での採用追加募集があり、自分へのけじめとして受けた採用試験に合格しました。自分がとうとう社会人になるのかと思いながらの入庁式。周りには大人と子供の間のような人間が整列をしていて不思議な感覚になりました。辞令式まで勤務地が発表されないため、ドキドキしながら辞令を待ち続けました。実は、幸運なことに私が所属する県土整備部には大学の友人が数人先に入庁していたため、私は来る辞令交付での配属先について情報収集を行っていました。大学時代の私の友人達はとても勉強熱心で県職員採用試験の受験者全員が合格していました。もちろん成績も優秀でたくさん勉強を教えてもらいました。卒業してもその信頼は揺るがず、私の内定は笑って喜んでくれました。しかし、学生時代とは裏腹に、情報収集をするにあたって友人たちに同じ質問をしましたが全員違う返答が来てしまいました。かなり困惑しました。全員口裏を合わせているのではないかと思ったことも。結局、心の準備もままならないまま辞令書を受け取ったのです。いざ辞令書をみると、「那珂県土整備事務所」・・・どこ??すぐさま Google map を開きました。

次の日には配属先へ。新採の最初の壁である自己紹介。入庁前から考えていたにも関わらず緊張でがちがちになりなにを言ったか覚えてません。自己紹介を終えると初めての上司が私を迎えに来てくれました。席に案内され着くと大人の雰囲気と威圧感を持つ人たちが待っていました。今思うと先輩方も緊張していたような気がします。冗談です。しかし、このように一步を踏み出したわけですが、人生の大きな変わり目としてはとても早く感じました。

那珂県土整備事務所はわりと栄えている大野城市に位置します。幸い自宅からの通勤圏内であり、しかも私が以前住んでいた家の近くであるため周囲の状況は何となく知っているつもりでした。しかし、そんな甘い考えは4月のうちに消え去ります。先輩方につれていってもらった現場は Google map を開かないとわからない場所ばかり。気にしたことも知るはずもない道路の路線番号や名称が飛び交う中、私は笑顔ですみませんどこでしょうか。しかも、新採は半年間公用車の運転ができないので道も覚えるのに時間がかかるのです。そんなこんなでしたが、今では自分の現場はもちろん、別の現場もつれていってもらえるため、なかなか分かるようになってきました。私は道路課建設係に配属されたわけですが道路の改築工事や電話対応を経験し、入庁前には全く気にしていなかった道路の管理者や区分、県道か市道かということが業務上で非常に重要であることが仕事をはじめてすぐにわかりました。大学時代の友人に道路課へ配属された人はいませんが、今年は同期が多く道路課へ配属された同期もまた多いので会うとよく道路やその工事の話で盛り上がっています。やはり横のつながりは大事ですね。

仕事以外にも、イベントが数多くあります。野球、サッカー、駅伝、ボウリング、その他スポーツ。楽しむか勝ちに行くかはさておき、私が所属する県土整備部はスポーツが盛んなのです。

私も初めて事務所に来て早々に野球部への入部を迫られました。そうです、これも新採の登竜門なのです。野球に関してど素人ですが私は挑戦することになりました。

いろいろと書きましたが、入庁してから7か月がたち、多くの人に出会い、経験し、初めてづくしの濃い7か月でした。早かったようで短いような。なんだかんだで面白く自分の経験になっています。また、ゼロから丁寧に教え、支えていただいている先輩方、上司に感謝しております。大事なことなので2回言います。非常に感謝しております。早く戦力として係ないし課に貢献できるように身と気を引締め、業務に励もうと思います。